

元亀・天正年間に尾張侯が開削したと伝えられた用水を緑道として整備することとし、散策路、植栽をもうけている。また、沿川住民により川の美化運動が行われている。



元亀・天正年間（一五七〇年代）に尾張侯が開削したと伝えられる庄内用水は、惣兵衛川とも呼ばれ、名古屋市内では最大の用水である。

かつては多くの農地を潤していたが、都市化の進展により沿川の宅地化が進んだため、用水機能のほかに地域の快適な環境づくりにも役立つこととし、総延長の約四分の一（五八〇〇メートル）を緑道として整備することとなつた。

整備にあたっては、沿川に従来から



### データボード④

- ① 愛知県名古屋市
- ② 名古屋市役所 ☎052-961-1111
- ③ 計画延長5,800m(61年度整備見込1,417m)
- ④ ポケット・スクエア、植栽
- ⑤ 街を美しくする運動